

最短時間で 最大効果をあげよう！

「現代文で失敗した。」という声をよく聞きます。しかし、私立文系志望でも受験勉強で現代文にかけられる時間は1割程度(英語:地歴公民:現代文:古典=4:4:1:1)でしょう。その少ない時間で失敗しない現代文の実力を付けるにはどうすればいいか、勉強の密度を濃くしていくかありません。単に問題を解いて答え合わせというような薄い学習をするくらいなら他の科目をやった方がましです。現代文の受験勉強はウイングネットの授業とその予復習+過去問で充分。
時間がかけられない科目だからこそ、ウイングネットで最短の時間で最大の効果をあげよう。



国語(現代文)

児玉克順先生

担当講座:「高3必修総合国語(現代文)」「高2必修国語(現代文)」他

ひやく天使
からの
メッセージ

合格への近道 その3

セルフティーチング



ウイングネットで第一志望大学に合格した先輩の共通の学習法は「復習の時に、授業で習った内容をセルフティーチングしていた」というものです。習ったことをマスターするには、人に教えることが最も早いと言われます。「セルフティーチング」とは、自分自身がもう一人の自分に教えることです。復習の際には、一問一問講師がどのように説明していたかを、テキスト・ノートを見ながら思い出し、「セルフティーチング」します。現代文の選択肢問題で、講師が本文中のどの箇所を根拠としたのか？またその箇所をどのように見つけたのか？等を自分自身がもう一人の自分に教えます。

上手く「セルフティーチング」できない問題は、その問題を再受講しましょう。ウイングネットのテキストで勉強したすべての問題について、「セルフティーチング」できるようになれば、間違いなく第一志望大学合格を手にすることができます。

もう一人の
自分に
教えてみよう！

授業内容を「セルフティーチング」
できるまで復習する。
それが「合格への近道 その3」です。



「必修」講座の各期第1回の授業を体験できます。

講座コード: 3PS		対象	日本・東洋・東京都市・東京電機・工学院、中京、近畿・甲南・龍谷等の私立大理工系を志望する生徒。国公立大理工系、東京理科・明治・青山学院・中央・法政・芝浦工業、関西・関西学院・同志社・立命館等の難関私立大理工系志望で、物理を苦手とする生徒。						
必修 総合物理S		物理は、公式が導き出される過程を理解し、実際の問題で公式の使い方をマスターすることが学習のポイントです。講義ではこの物理学のポイントに即して解説をおこない、さまざまな問題に対応できる実力を養成します。							
基礎 → 応用 ★ ★ ★ ★ ★	講師	小野 仁彦	チェックテスト	タスクテスト	補助冊子	予習	不要	標準受講回数	80分×62回

講座コード: 3PG		対象	難関国公立大理工系、早稲田・慶應・上智、東京理科・明治・青山学院・中央・法政・芝浦工業、関西・関西学院・同志社・立命館等の難関私立大を志望する生徒。						
必修 総合物理G		物理は公式が導き出される過程を理解し、実際の問題で公式の使い方をマスターすることが学習のポイントです。講義ではこの物理学のポイントに即して解説をおこない、ハイレベルの問題に対応できる実力を養成します。解説では、微分積分を利用します。受講に際しては、「数Ⅱの微分積分」を履修している必要があります。							
基礎 → 応用 ★ ★ ★ ★ ★	講師	小野 仁彦	チェックテスト	タスクテスト	補助冊子	予習	不要	標準受講回数	80分×62回

■年間カリキュラム

期	ユニット	回数	授業内容	期	ユニット	回数	授業内容	期	ユニット	回数	授業内容
入試スタート 8回		1回①②	重力と垂直抗力による物体の運動	I期	練成 ユニット3 1学期②	7回①②	剛体のつり合い	II期	練成 ユニット2 2学期②	4回①②	電磁誘導 (1)
		2回①②	張力と摩擦力による物体の運動			8回①②	慣性力			5回①②	電磁誘導 (2)
		3回①②	ばねの弾性力による物体の運動			9回①②	仕事と力学的エネルギー			6回①②	交流 (1)
		4回①②	放物運動		10回①②	力積と運動量	練成 ユニット3 2学期③		7回①②	交流 (2)	
I期 練成 ユニット1 3月スタート	1回①②	波の伝わり方と干渉	11回①②		運動量保存則と力学的エネルギー保存則	8回①②			半導体		
	2回①②	波の反射と定常波	12回①②		円運動	9回①②			熱と温度、気体の法則 (1)		
	3回①②	ドップラー効果 タスクテスト	練成 ユニット5 1学期④		13回①②	単振動 (1)	練成 ユニット4 2学期④		10回①②	熱と温度、気体の法則 (2)	
春期講習 必修「光の性質とレンズS・G」 (年間カリキュラム講座)	4回①②	物体の運動			14回①②	単振動 (2)			11回①②	熱力学の第1法則 (1)	
	5回①②	運動方程式 (1)			15回①②	万有引力とケプラーの法則			12回①②	熱力学の第1法則 (2)	
	6回①②	運動方程式 (2) タスクテスト	夏期講習 必修「電界と電流S・G」 (年間カリキュラム講座)	II期 練成 ユニット1 2学期①	1回①②	コンデンサーを含む直流回路	直前講習 必修「物理総合ゼミ (標準・応用)」				
I期 練成 ユニット2 1学期①	5回①②	運動方程式 (2)			2回①②	内部抵抗・非線形抵抗					
	6回①②	タスクテスト			3回①②	電流と磁場 タスクテスト					

※「講習」講座の詳細は、講習毎の「学習・講座ガイド」をご参照ください。

*テキスト区分「入試スタート」「3月スタート」「1学期①②③④」「2学期①②」「2学期③④」

講座コード: 3CS		対象	日本・東洋・東京都市・東京電機・工学院、中京、近畿・甲南・龍谷等の私立大理工系、私立大の薬学系・農学系・医療系の学部を志望する生徒。						
必修 総合化学S		化学は「理解して覚える」ことが大切です。化学の理論体系と入試で問われる知識を有機的に関連づけて基本から導入し、入試基礎～標準レベルの問題演習により実力を強化します。さらに、各回に用意されている「復習問題」を活用することにより、基本事項の定着を万全なものにすることができます。							
基礎 → 応用 ★ ★ ★ ★ ★	講師	古川 千晶	チェックテスト	タスクテスト	補助冊子	予習	不要	標準受講回数	80分×62回

講座コード: 3CG		対象	難関国公立大、早稲田・慶應・上智、東京理科・明治・青山学院・中央・法政・芝浦工業、関西・関西学院・同志社・立命館等の難関私立大理工系、難関私立大の薬学系・農学系・医療系学部を志望する生徒。						
必修 総合化学G		化学は「理解して覚える」ことが大切です。化学の理論体系と入試で問われる知識を有機的に関連づけて導入し、精選された入試標準レベルの良問演習によりハイレベルの実力を養成します。							
基礎 → 応用 ★ ★ ★ ★ ★	講師	古川 千晶	チェックテスト	タスクテスト	補助冊子	予習	不要	標準受講回数	80分×62回

■年間カリキュラム

期	ユニット	回数	授業内容	期	ユニット	回数	授業内容	期	ユニット	回数	授業内容
入試スタート 8回		1回①②	ハロゲン	I期	練成 ユニット3 1学期②	7回①②	溶液の性質・コロイド溶液	II期	練成 ユニット2 2学期②	4回①②	フェノール類・芳香族窒素化合物
		2回①②	酸素族			8回①②	熱化学			5回①②	芳香族カルボン酸
		3回①②	炭素・窒素属			9回①②	反応速度と反応経路			6回①②	有機化合物の分離・確認
		4回①②	気体の発生とその性質		10回①②	化学平衡	練成 ユニット3 2学期③		7回①②	糖類	
I期 練成 ユニット1 3月スタート	1回①②	物質と原子の構造	11回①②		酸・塩基	8回①②			アミノ酸・タンパク質		
	2回①②	化学式・化学量とモル計算	12回①②		中和滴定	9回①②			3CS 合成高分子化合物 (1)		
	3回①②	化学結合と結晶の性質 タスクテスト	練成 ユニット5 1学期④		13回①②	酸化・還元	練成 ユニット4 2学期④		3CG 天然高分子化学演習		
春期講習 必修「金属の結晶と性質S・G」 (年間カリキュラム講座)	4回①②	物質の三態・気体の法則①			14回①②	イオン化傾向と電池			10回①②	3CS 合成高分子化合物 (2)	
	5回①②	気体の法則②			15回①②	電気分解			11回①②	3CG 合成高分子化合物 (1)	
	6回①②	濃度と溶解度 タスクテスト	夏期講習 必修「有機化学S・G」 (年間カリキュラム講座)	II期 練成 ユニット1 2学期①	1回①②	脂肪族有機化合物	3CS 有機化学総合演習 (1)				
I期 練成 ユニット2 1学期①	5回①②	濃度と溶解度			2回①②	油脂・セッケン	3CG 合成高分子化合物 (2)				
	6回①②	タスクテスト			3回①②	芳香族炭化水素	3CS 有機化学総合演習 (2)				
	直前講習 必修「化学総合ゼミ (標準・応用)」										

※「講習」講座の詳細は、講習毎の「学習・講座ガイド」をご参照ください。

*テキスト区分「入試スタート」「3月スタート」「1学期①②③④」「2学期①②」「2学期③④」

「必修」講座の各期第1回の授業を体験できます。

講座コード: 3B		対象	国公立大の農学部、私立大の農学部・医療系学部を志望する生徒。センター試験で高得点を目指す生徒。					
必修 総合生物		生物は単に暗記だけの科目ではありません。講義では、観察や実験から得られた事実と関連づけながら入試で問われる知識を整理・体系化し、実力アップを図ります。学期ごとに学習内容を「生物基礎」と「生物」に分けていますので「生物基礎」の範囲のみ学習することも可能です。						
基礎 → 応用 ★★★★★	講師	三浦 忠義	チェックテスト	タスクテスト	予習	不要	標準受講回数	80分×62回

■年間カリキュラム

期	ユニット	回数	授業内容	
入試 スタート 8回		1回①②	【生物基礎】 生物の多様性と共通性・細胞 生命活動とエネルギー 生物と遺伝子 遺伝情報とタンパク質合成	
		2回①②		
		3回①②		
		4回①②		
I期	練成 ユニット1 3月スタート	1回①②	【生物基礎】 体内環境 (1) 体内環境 (2) 体内環境 (3) タスクテスト	
		2回①②		
		3回①②		
夏期 講習	必修「恒常性と免疫」 (年間カリキュラム講座)			
	必修「生物重要テーマ①～遺伝～」 (年間カリキュラム講座) 必修「生物重要テーマ②～生物の進化と系統～」 (年間カリキュラム講座)			
I期	練成 ユニット2 1学期①	4回①②	【生物基礎】 植生の多様性と分布 気候とバイオーム 生態系とその保全 タスクテスト	
		5回①②		
		6回①②		
II期	練成 ユニット3 1学期②	7回①②	【生物】 生体物質と細胞 生体膜 生命現象とタンパク質 タスクテスト	
		8回①②		
		9回①②		
I期	練成 ユニット4 1学期③	10回①②	【生物】 代謝 (1) 代謝 (2) 代謝 (3) タスクテスト	
		11回①②		
		12回①②		
		13回①②		
II期	練成 ユニット5 1学期④	14回①②	【生物】 遺伝情報の発現 遺伝子の発現調節 バイオテクノロジー タスクテスト	
		15回①②		
		16回①②		
II期	練成 ユニット1 2学期①	1回①②	【生物】 動物の配偶子形成と発生の過程 発生のおもしろみ 植物の配偶子形成と受精、器官分化 タスクテスト	
		2回①②		
		3回①②		
		4回①②		
II期	練成 ユニット2 2学期②	4回①②	【生物】 ニューロンの構造と性質、興奮の伝導と伝達 受容器、効果器 神経系 タスクテスト	
		5回①②		
		6回①②		
II期	練成 ユニット3 2学期③	7回①②	【生物】 動物の行動 植物の環境応答 (1) 植物の環境応答 (2) タスクテスト	
		8回①②		
		9回①②		
II期	練成 ユニット4 2学期④	10回①②	【生物】 生態と環境 (1) 生態と環境 (2) 生態と環境 (3) タスクテスト	
		11回①②		
		12回①②		
直前講習				必修「生物総合ゼミ」


*テキスト区分「入試スタート」「3月スタート」「1学期①②」「1学期③④」「2学期①②」「2学期③④」


配信開始予定日 「入試スタート」…2月1日 「練成0期」…2月15日 「練成1期」…3月1日 「練成2期」…4月1日

※「講習」講座の詳細は、講習毎の「学習・講座ガイド」をご参照ください。

物理の思考過程が見える!

参考書や問題集を一生懸命やっても物理の成績が上がらないと嘆いている人がよくいます。力学を例にとると、問題の状況を図式化することがなにより重要ですが、参考書ではこの図式が最初から完成された状態で描かれています。物理が苦手な人は完成した図式をいきなり見せられても得意にはなれません。一つ一つ順番に物体に働く力を考えながら図式を完成させていく思考過程を学ぶことこそが大切なのです。授業ではこの思考過程を目に見える形で示しながら解説していきます。君もウイングネットで繰り返し学習し、物理の思考過程をマスターしよう。





物理
小野仁彦先生

担当講座: 「高3必修総合物理」 他

丸暗記から脱却し、 生命現象を正確に理解しよう

生物を暗記科目と考えると、一問一答的に用語を丸暗記するのは賢くありません。用語を単純に覚えるだけでは、平均点を取れたとしても高得点は望めないし、発展的な問題に太刀打ちできません。教科書レベルの知識を正確に深く理解できれば、各分野の内容がつながり応用する力もつきます。

基礎・基本を疎かにせず1つ1つの内容を着実に身につけていくことが成績向上への近道です。授業では、基本となる知識を一から丁寧に解説し、志望校合格に必要な学力作りを徹底的に行います。

生物

三浦忠義先生

担当講座：「高3必修総合生物」 他



ひやく天使
からの
メッセージ

合格への近道 その4

解答再現



理系科目の入試演習問題の復習では、「解答再現」が大変効果的です。「解答再現」とは、テキストやノートを見ずに、解答を始めから最後までスラスラと書くということです。

入試問題には、解答に至るまでの過程に、いくつかの関門があります。講師の説明を聞いている時は、わかったつもりでも、いざ自分自身で解いてみると途中の関門で立ち止まるということがよくあります。知らない土地で最初は案内されて目的地にたどり着けても、次に自分一人でたどり着けるかどうかはわからないのと同じです。

物理の復習であれば、①適切な図を書く、②その図に正しい順序で力の矢印を書き込んでいく、③図をもとに式を立て正確に計算して解答を導く。このような過程を自力で再現します。

理系科目の入試演習問題の復習時には、この解答再現を必ずおこなひましょう。解答再現のコツは「入試の採点官に読んでもらうつもりでノートに書き出すことです。裏紙に乱雑に計算だけして終わりでは効果薄です。上手く解答再現できない問題はその問題を再受講しましょう。さらに、別解などの「違った解き方」にトライしてみるとより学力は伸びます。



「わかったつもり」
はNG!



理系科目の入試演習問題は解答再現できるまで復習する。
それが「合格への近道 その4」です。

講座コード: 3JS		対象	成蹊・成城・武蔵・明治学院、日本・東洋・駒澤・専修、京都産業・近畿・甲南・龍谷等の上位私立大を志望する生徒。明治・立教・青山学院・中央・法政・学習院、関西・関西学院・同志社・立命館等の難関私立大志望で、日本史を苦手とする生徒。			
必修 総合日本史S		日本史の学習では、歴史の流れを理解し、個々の重要事項を関連づけて覚えていくことが大切です。入試で問われる重要事項を整理・体系化し、板書内容がそのままサブノートとなるよう講義を進めます。また、別冊の「日本史復習問題集」を使用し、授業内で重要事項の定着を図ります。				
基礎 → 応用 ★ ★ ★ ★ ★	講師	白木 宏明	チェックテスト	タスクテスト	復習問題集	予習 不要 標準受講回数 80分×62回

講座コード: 3JG		対象	難関国公立大、早稲田・慶應・上智、明治・立教・青山学院・中央・法政・学習院、関西・関西学院・同志社・立命館等の難関私立大を志望する生徒。			
必修 総合日本史G		日本史の学習では、歴史の流れを理解し、個々の重要事項を関連づけて覚えていくことが大切です。入試で問われる事項を細部にわたり、整理・体系化し、穴埋め形式の補助冊子がそのままサブノートとなるよう講義を進めます。別冊の「日本史復習問題集」を活用することにより、学習内容を確実に定着させることができます。				
基礎 → 応用 ★ ★ ★ ★ ★	講師	白木 宏明/中務 康弘 ^(注1)	チェックテスト	タスクテスト	補助冊子 ^(注2)	予習 不要 標準受講回数 80分×62回

(注1) 中務康弘先生の授業は順次配信となります。
 (注2) 白木宏明先生の講座を受講する場合は、補助冊子を使用します。中務康弘先生の講座を受講する場合は、補助冊子は使いません。

■年間カリキュラム

期	ユニット	回数	授業内容
入試スタート	8回	1回①② 2回①② 3回①② 4回①②	古代国家の形成 ヤマト政権の動揺 律令国家の成立 律令体制
I期	練成ユニット1 3月スタート	1回①② 2回①② 3回①②	律令国家の展開と動揺 平安時代の始まり 荘園公領制と武士の進出 タスクテスト
春期講習 必修「鎌倉時代S・G」 (年間カリキュラム講座)			
I期	練成ユニット2 1学期①	4回①② 5回①② 6回①②	建武政権と南北朝の動乱 室町幕府の成立 一揆と下剋上・室町時代の産業 タスクテスト
夏期講習 必修「明治史S・G」 必修「文化史S・G」 (年間カリキュラム講座)			
II期	練成ユニット1 2学期①	1回①② 2回①② 3回①②	第一次世界大戦と日本 大正時代の内政と外交 政党政治の確立と恐慌 タスクテスト
II期	練成ユニット2 2学期②	4回①② 5回①② 6回①②	協調外交の挫折と統帥権干犯問題 中国侵略と政党政治の崩壊 ファシズムの形成 タスクテスト
II期	練成ユニット3 2学期③	7回①② 8回①② 9回①②	日中戦争から太平洋戦争へ 日本の敗戦と民主化 2つの世界と日本 タスクテスト
II期	練成ユニット4 2学期④	10回①② 11回①② 12回①②	現代の世界と日本 近現代の文化(1): 明治 近現代の文化(2): 大正~昭和後期 タスクテスト
直前講習 必修「日本史総合ゼミ(標準・応用)」			

※「講習」講座の詳細は、講習毎の「学習・講座ガイド」をご参照ください。 *テキスト区分「入試スタート」「3月スタート」「1学期①②③④」「2学期①②③④」

講座コード: 3WS		対象	成蹊・成城・武蔵・明治学院、日本・東洋・駒澤・専修、京都産業・近畿・甲南・龍谷等の上位私立大を志望する生徒。明治・立教・青山学院・中央・法政・学習院、関西・関西学院・同志社・立命館等の難関私立大志望で、世界史を苦手とする生徒。			
必修 総合世界史S		世界史の学習では、断片的な「点」や「線」としての知識よりも、それぞれの知識を「面」として関連づけて覚えていくことが大切です。入試で問われる重要事項を、整理・体系化し、穴埋め形式の補助冊子がそのままサブノートとなるよう講義を進めます。別冊の「世界史復習問題集」を活用することにより、学習内容を確実に定着させることができます。				
基礎 → 応用 ★ ★ ★ ★ ★	講師	鵜飼 恵太	チェックテスト	タスクテスト	補助冊子	予習 不要 標準受講回数 80分×62回

講座コード: 3WG		対象	難関国公立大、早稲田・慶應・上智、明治・立教・青山学院・中央・法政・学習院、関西・関西学院・同志社・立命館等の難関私立大を志望する生徒。			
必修 総合世界史G		世界史の学習では、断片的な「点」や「線」としての知識よりも、それぞれの知識を「面」として関連づけて覚えていくことが大切です。入試で問われる事項を細部にわたり、整理・体系化し、ハイレベルの実力が身につくよう講義を進めます。別冊の「世界史復習問題集」を活用することにより、学習内容を確実に定着させることができます。				
基礎 → 応用 ★ ★ ★ ★ ★	講師	鵜飼 恵太	チェックテスト	タスクテスト	補助冊子	予習 不要 標準受講回数 80分×62回

■年間カリキュラム

期	ユニット	回数	授業内容
入試スタート	8回	1回①② 2回①② 3回①② 4回①②	オリент世界の形成 オリентの統一 ギリシアの民主政治 ポリスの崩壊とヘレニズム世界の展開
I期	練成ユニット1 3月スタート	1回①② 2回①② 3回①②	共和政ローマ ローマ帝国と原始キリスト教 西欧中世国家の成立 タスクテスト
春期講習 必修「中世ヨーロッパ史S・G」 (年間カリキュラム講座)			
I期	練成ユニット2 1学期①	4回①② 5回①② 6回①②	中国文明の形成 秦漢帝国 魏晋南北朝の貴族制 タスクテスト
夏期講習 マスター「アジア諸地域の歴史S・G」 必修「欧米近現代史S・G」前編/後編 (年間カリキュラム講座)			
II期	練成ユニット3 2学期②	7回①② 8回①② 9回①②	隋唐帝国と律令制 東アジア世界の形成 唐宋変革 タスクテスト
II期	練成ユニット4 2学期③	10回①② 11回①② 12回①②	モンゴル世界帝国と元 明清中華帝国(1) 明清中華帝国(2) タスクテスト
II期	練成ユニット5 1学期④	13回①② 14回①② 15回①②	イスラーム世界の形成 イスラーム諸王朝の分立 イスラーム専制帝国 タスクテスト
II期	練成ユニット1 2学期①	1回①② 2回①② 3回①②	西欧諸国のアジア侵略 西欧諸国の中国侵略 帝国主義とアフリカ分割 タスクテスト
II期	練成ユニット2 2学期②	4回①② 5回①② 6回①②	帝国主義時代の欧米諸国と日露戦争 東方問題と第一次世界大戦 ヴェルサイユ体制 タスクテスト
II期	練成ユニット3 2学期③	7回①② 8回①② 9回①②	社会主義の発展とロシア革命 アジアの民族運動 中国の民族運動 タスクテスト
II期	練成ユニット4 2学期④	10回①② 11回①② 12回①②	世界恐慌と第二次世界大戦 冷戦 平和共存 タスクテスト
直前講習 必修「世界史総合ゼミ」			

※「講習」講座の詳細は、講習毎の「学習・講座ガイド」をご参照ください。 *テキスト区分「入試スタート」「3月スタート」「1学期①②③④」「2学期①②③④」

「必修」講座の各期第1回の授業を体験できます。

講座コード: 3S		対象	明治・青山学院・中央・法政・成蹊・成城・武蔵・明治学院、日本・東洋・駒澤・専修、関西・同志社・立命館、京都産業・近畿・甲南・龍谷等の私立大を志望する生徒。						
必修 総合政治経済		政治経済の入試問題は、教科書に出てくる用語だけを覚えていたのでは解けません。入試で問われる事項の背景をきちんと理解しながら系統立てて学習する必要があります。入試で問われる重要事項を、整理・体系化し、さらに近年の入試の出題傾向に沿って講義を進めます。各回に用意されている、「復習問題」を活用することにより、学習内容を確実に定着させることができます。							
基礎 → 応用 ★★★★★	講師	角田 匡一	チェックテスト	タスクテスト	補助冊子	予習	不要	標準受講回数	80分×54回

■年間カリキュラム

期	ユニット	回数	授業内容	期	ユニット	回数	授業内容	期	ユニット	回数	授業内容	
I期	練成 ユニット1 3月スタート	1回①②	民主政治の基本原理と発展 (1)	I期	練成 ユニット4 1学期③	10回①②	日本の統治機構 (1) : 国会選挙	II期	練成 ユニット2 2学期②	4回①②	経済主体と市場経済 (2)	
		2回①②	民主政治の基本原理と発展 (2)			11回①②	日本の統治機構 (2) : 内閣			5回①②	国富と国民所得	
		3回①②	民主政治の基本原理と発展 (3) タスクテスト			12回①②	日本の統治機構 (2) : 内閣 タスクテスト			6回①②	経済成長と景気変動 タスクテスト	
	春期講習 必修「主要国の政治体制・日本国憲法の成立」 (年間カリキュラム講座)					13回①②	日本の統治機構 (3) : 裁判所		II期	練成 ユニット3 2学期③	7回①②	貨幣制度と金融
						14回①②	地方自治・財政・憲法改正				8回①②	財政
I期	練成 ユニット2 1学期①	4回①②	平和主義と日本の安全保障 (1)		夏期講習 必修「政経重要テーマ」 (年間カリキュラム講座)	15回①②	環境問題 タスクテスト			9回①②	日本経済の発展 (1) タスクテスト	
		5回①②	平和主義と日本の安全保障 (2)				10回①②	経済入門 (1)		II期	練成 ユニット4 2学期④	10回①②
		6回①②	基本的人権の尊重 (1) タスクテスト			11回①②	経済入門 (2) 経済学説					11回①②
	練成 ユニット3 1学期②	7回①②	基本的人権の尊重 (2)			12回①②	経済主体と市場経済 (1) タスクテスト			12回①②	国民生活の諸問題 (2) タスクテスト	
			8回①②	基本的人権の尊重 (3)						直前講習 必修「政治経済総合ゼミ」		
		9回①②	基本的人権の尊重 (4) タスクテスト									

*「講習」講座の詳細は、講習毎の「学習・講座ガイド」をご参照ください。

*テキスト区分「3月スタート」「1学期①②」「1学期③④」「2学期①②」「2学期③④」

講座コード: 3JZ		対象	日本史の史料問題、応用問題に対する得点力を高めたい生徒。「総合日本史G」受講生。						
プラクティス 日本史実戦ゼミ		史料問題を中心に取り上げ、講義します。「総合日本史G」の後追いでカリキュラムを進め、多角的な切り口で解説を加えることで、日本史の史料問題、応用問題に対する得点力を強化します。「総合日本史G」受講生が、並行して受講することにより得点力を高めることができます。							
基礎 → 応用 ★★★★★	講師	白木 宏明				予習	要	標準受講回数	80分×24回

ユニット	回数	授業内容	ユニット	回数	授業内容	ユニット	回数	授業内容	ユニット	回数	授業内容
実戦1 (1学期①)	1回	古代の対外関係	実戦3 (1学期③)	7回	室町時代の産業・戦国時代	実戦5 (2学期①)	1回	明治維新と富国強兵	実戦7 (2学期③)	7回	政党政治からファシズムへ
	2回	律令政治		8回	織豊政権		2回	立憲政治の確立と条約改正		8回	二・二六事件と思想統制の歴史
	3回	貴族政治と荘園公領制		9回	江戸幕府の成立と初期外交		3回	大陸政策の展開と産業革命		9回	戦時体制の強化と大東亜共栄圏
実戦2 (1学期②)	4回	鎌倉時代の政治と社会	実戦4 (1学期④)	10回	文治政治・江戸時代の産業・経済の発達	実戦6 (2学期②)	4回	文化史Ⅰ (古代～中世)	実戦8 (2学期④)	10回	太平洋戦争と新しい日本
	5回	鎌倉幕府滅亡から室町幕府		11回	幕藩体制の動揺		5回	第一次世界大戦と日本		11回	占領下の日本と冷戦の幕開け
	6回	一揆と下克上		12回	幕政の衰退		6回	恐慌の時代		12回	文化史Ⅱ (近世～近現代)

*テキスト区分「1学期①②③④」「2学期①②③④」

講座コード: 3WZ		対象	世界史の応用問題に対する得点力を高めたい生徒。「総合世界史G」受講生。							
プラクティス 世界史実戦ゼミ		難関大学の過去問から精選した良問で演習をおこないます。「総合世界史G」の後追いでカリキュラムを進めていきますので、「総合世界史G」受講生が、並行して受講することにより得点力を高めることができます。								
基礎 → 応用 ★★★★★	講師	鴫飼 恵太				補助冊子	予習	要	標準受講回数	80分×24回

ユニット	回数	授業内容	ユニット	回数	授業内容	ユニット	回数	授業内容	ユニット	回数	授業内容
実戦1 (1学期①)	1回	オリент	実戦3 (1学期③)	7回	中国史(魏晉南北朝～唐宋変革)	実戦5 (2学期①)	1回	文化史	実戦7 (2学期③)	7回	西欧諸国のアジア侵略
	2回	古典古代 (1)		8回	中国史 (テーマ史)		2回	西欧世界の覚醒		8回	帝国主義と第一次世界大戦
	3回	古典古代 (2)		9回	中国史 (文化史)		3回	絶対主義		9回	社会主義とロシア革命
実戦2 (1学期②)	4回	西欧中世 (1)	実戦4 (1学期④)	10回	中国史 (元、明、清)	実戦6 (2学期②)	4回	近代市民社会の形成	実戦8 (2学期④)	10回	アジアの民族運動
	5回	西欧中世 (2)		11回	イスラーム史Ⅰ		5回	ウィーン体制		11回	戦間期の世界
	6回	中国史 (先史～後漢)		12回	イスラーム史Ⅱ		6回	自由主義と国民主義		12回	戦後の世界

*テキスト区分「1学期①②」「1学期③④」「2学期①②」「2学期③④」

読めば授業が浮かんでくる
「日本史まとめノート」を手に入れよう!

日本史攻略のコツは何でしょうか。教科書の太字を全部覚える? 入試では教科書の太字ではないところが問われます。用語集の頻度表示の高い用語を覚える? 用語集の頻度表示は教科書の掲載数であって入試の頻度ではありません。そこでウイングネットの授業です。授業では、歴史の流れが見えるように、かつ入試に必要な用語をすべて分かりやすく講義しながら黒板にまとめていきます。しっかりと授業を聞いた上で、これをノートに取れば、読めば授業が浮かんでくる「日本史まとめノート」が完成します。このノートを繰り返し復習することが日本史攻略のコツです。ウイングネットの授業を受けて、キミも「日本史まとめノート」を作りましょう。



日本史
中務康弘先生

担当講座:「高3必修総合日本史G」他

合格への近道 その5

ひやく天使
からの
メッセージ

「基礎トレ」はすればするほど自信湧く



スポーツでも、楽器演奏でも、基本動作の反復練習(=「基礎トレ」)が大切です。基本動作を体に染みこませれば、レベルの高いテクニックをマスターすることもできます。

受験勉強でもスポーツや楽器演奏と同じことが言えます。入試問題演習と併行して、「基礎トレ」を継続しておこなうことが重要です。地歴・公民で言えば、ひとつひとつの重要な用語を、解きメキや用語問題集等を活用して覚えることが「基礎トレ」となります。

「基礎トレ」には才能は不要です。必要なのは継続的におこなうという「やる気」だけです。「基礎トレ」を継続すれば、難しく思っていた入試問題も次第に解けるようになり、勉強に対する自信が湧いてきます。そうなると、受験勉強そのものが楽しくなってきたり、第一志望大学合格を、手元にグッと引き寄せることができます。

基礎トレは
継続が
大事!



「基礎トレ」はすればするほど自信湧く。
それが「合格への近道 その5」です。